

「新型コロナウイルス感染症に関する 誹謗中傷を無くする議会の取り組み」

金山町議会では、昨年の12月定例会において「誹謗中傷をなくし共に支え合うことにより新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議」を行った。

この度、愛媛県の有志グループ（ちょびっと19+）が発端となって、新型コロナウイルス感染症に関する誹謗中傷を無くするための取り組みとして全国的に広まりつつある「シトラスリボンプロジェクト」の考え方に金山町議会として賛同し、6月定例会において取り組んだ。



議員もリボン
を付けて審議

子育て支援センター内で活動している「MaMa'sサークルおひさま」では、シトラスリボンプロジェクトにいち早く賛同し、子育てをする傍ら、シトラスリボンの作成に取り組んでいる。



シトラスリボンを作成する「MaMa'sサークルおひさま」の様子

※「シトラスリボンプロジェクト」とは

コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクト。

愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身に付け、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めていく取り組み。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場（学校）を表す。

議会の主な動き（4月～6月まで）

4月 1日(木)	転入教職員辞令交付式・歓迎式	役場
7日(水)	最上市町村・町村議会議長会・局長会議	新庄市
8日(木)	議会全員協議会	役場
27日(火)	議会全員協議会	役場

5月 1日(土)	町議会5月臨時会 議会運営委員会	役場
7日(金)	最上地区広域連合議会運営委員会 議会全員協議会	新庄市
12日(水)	最上地区広域連合議会5月臨時会	新庄市
17日(月)	最上地方町村議会議長会臨時総会 最上市町村議会議長会臨時総会	新庄市 新庄市
18日(火)	最上広域市町村圏事務組合議会全員協議会 令和3年度最上開発協議会総会	新庄市 新庄市
26日(水)	最上県勢懇話会	新庄市
28日(金)	議会運営委員会 診療所経営委員会	役場 診療所
31日(月)	知事を囲む市町村自治振興懇談会	山形市

6月 1日(火)	県議長会 臨時総会	川西町
4日(金)～8日(火)	町議会6月定例会	役場
7日(月)	東京2020オリンピック聖火リレーミニセレブレーション	新庄市
17日(木)	金山町老人クラブ連合会総会	町内
22日(火)	最上市町村議会議長会定期総会 最上地方町村議会議長会定期総会	新庄市 新庄市
25日(金)	最上地区広域連合議会運営委員会 議会全員協議会	新庄市
29日(火)	最上地区広域連合議会6月定例会	新庄市
30日(水)	神室振興公社 株主総会	ホテル

第38回町村議会広報研修会 （7月21日 山形市）

全国コンクールの審査員を務めるグラフィックデザイナーの長岡光弘氏による町村広報誌のクリニック（診断）が行われた。当町の議会だより124号を含む16町村がクリニック（診断）を受け、住民の知りたいニーズに応え、関心の高い内容を重視しながら、写真などを交え、伝えるべき内容を分かりやすく短文で伝えるポイントを研修した。

これからの広報は住民の目を引き付ける誌面づくりが重要であり、例えば、写真と見出しを見れば何が書かれているかわかるような見やすい手法を心掛けていきたいものである。



議会広報クリニックの様子

議会全員協議会 —— 6月8日

地域おこし協力隊・ 集落支援員と議員の語る会

今年度から採用となった地域おこし協力隊（2名：鈴木朋広さん・本間真生さん）・集落支援員（1名：栗田伸一さん）と議員の語る会を開催した。3名の方々からは、それぞれの近況や今後の予定・ビジョンについてお話があり、それらについて議員との意見交換を行った。



地域おこし協力隊・集落支援員と議員の語る会



地域でモルック（レクリエーション）の普及活動に取り組む栗田支援員



金山校地域探求サークルで活動する本間隊員



グリーンバレー帯の観光事業として馬車事業に取り組む鈴木隊員

議会全員協議会

7月16日に議会全員協議会を開催し、新型コロナ臨時交付金関連事業及びその他主要事業についての今後の方向性について説明を受けた。概要は、次のとおり。

①新型コロナ臨時交付金関連事業について

※7月議会臨時会の内容のとおり（P9）

②「株式会社ここから」の提案等に対する町の回答内容について

●「知の蔵」事業について（蔵を利用しての図書館事業）

「株式会社ここから」が提案する教育に関する事業「知の蔵」プロジェクト（図書館機能を備えた改修する蔵を「株式会社ここから」が建設し、事業運営を町に担ってほしいという構想）について、町としては、この事業に係る趣旨や考え方については共感できる部分が多いものの、改修後の当該施設の運営について町が関与することは、次の理由により「不可能」という判断に至った。

- 町財政の現状から、町有の公共施設について整理統合して、最低限の施設群を効率的に活用する方策を模索する中で、新たな施設（知の蔵）を町費で運営することは難しいこと
- 小学校が統合されることによる学校活動及び学校図書活動の充実が図られると考えられること
- 放課後子ども教室や学童保育の新たな実施内容を検討中であること
- 一般町民向け及び児童等の学校以外の図書館機能については既存の施設の有効活用を中心に検討中であること

●古い住宅の文化財登録

古い住宅群を文化財登録することにより町をグレードアップさせる提案については、一定の調査が終了している建物については有識者と相談しながら進めていきたい。

●レンタル自転車事業・マルコの蔵Wi-Fi周知・クラフト体験の場について

関係課と協議しながら進めていきたい。

●「創造都市ネットワーク日本」加入後の活動について

当面は、古い住宅の文化登録を進めていくことで加入意義を示していきたい。

③スクールバス車庫建設事業について

スクールバス格納車庫建設については、今年の3月定例会において予算を可決いただき、建設に向けて設計等の準備を進めてきたが、コロナ禍の影響で資材が高騰し、建設費用が不足する事態となった。本来であれば補正予算をお願いし、建設を進めるところだが、庁内のバス格納庫や公用車車庫等を調整し、なんとか1台分のバス格納スペースを確保する見込みが出来たので、財政状況にも配慮し、スクールバス格納車庫建設事業については当面凍結させていただきたい。